

令和4年度
大学院薬学研究科薬科学専攻
博士後期課程
学生募集要項

横浜薬科大学

〒245-0066 神奈川県横浜市戸塚区俣野町601

大学院 入試広報課：TEL：0120-76-8089 直通 045-854-2345

FAX：045-851-1413

養成する人材像及び入学者受入方針

大学院薬科学研究科の目的および養成する人材像

本学大学院薬学研究科は、建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を教育理念とし、薬学の学術理論及び応用を教授・研究し、その深奥をきわめ、深い学識及び卓越した能力を培い、もって文化の伸展に寄与するとともに人類の福祉に貢献する人材の養成を目的とします。

薬科学専攻博士後期課程では、以下のことができる人材の育成を目指します。

- ・創薬学及び基礎薬学に関する研究活動を自立して行い、多様化する精密医療技術の進歩に則した新たな課題に挑戦できる人材。
- ・薬学的知識を応用した新医薬品及び新医療技術を開発し評価ができる、高度な薬学研究能力を有する人材。
- ・伝統医療及び天然物、更に食品も含め、多くの情報を集積・分析することにより創薬や新医療技術の開発に適用し、経験に基づきながらも斬新な発想ができる科学者

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

薬科学専攻博士後期課程では、上記の人物像を目標とし、博士前期（修士）課程からの継続的な研究に留意するとともに臨床段階を主に扱う薬学専攻への橋渡しも考慮し、ヘルスサイエンス、漢方薬学、臨床薬学、創薬化学、ライフサイエンスの5つの研究領域設定し、薬学の科学者としての能力を身に着けることができます。

本学の大学院では、本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、最新医療及び伝統医療を研究し、将来薬学の科学者として、薬学の発展に貢献しようという情熱を持つ人を募集します。

募集研究分野

- ・創薬化学（有機化学、医薬品合成化学、天然物化学を含む）
- ・ライフサイエンス（薬理学、機能形態学、生化学、分子生物学を含む）
- ・ヘルスサイエンス（衛生化学、環境衛生学、食化学を含む）
- ・臨床薬学（臨床薬理学、薬物治療学、薬物動態学、医薬品評価学を含む）
- ・漢方薬学（漢方薬学、生薬学、薬用植物学を含む）

目 次

1	募集人員	p 1
2	出願資格	p 1
3	出願資格に関する事前審査	p 1
4	出願手続	p 2
5	入学検定料	p 3
6	出願書類	p 4
7	選考方法及筆記試験科目	p 5
8	試験期日および場所	p 6
9	合格者の発表	p 6
10	入学手続	p 6
11	学納金	p 7
12	受験に関する質問先	p 7
13	領域・分野別研究指導教員（教授・准教授）および課題研究	p 8

1 募集人員

専攻名 薬学専攻 博士課程

入試区分	募集人員
一般入学試験	2名
推薦入学試験	
社会人入学試験	

2 出願資格

博士後期課程（標準修業年限3年）に出願できるのは、次の各号のいずれかに該当する者である。

- (1) 学校教育法第83条の定める日本国内の大学（日本の大学）の理系の大学院研究科修士課程、博士課程（前期2年の課程）又は専門職学位課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者。
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程を修了又は修士課程を修了した者（令和4年3月31日までに修了見込みの者を含む）。
- (3) 本大学院が、個別の入学資格審査により、修士課程、博士課程（前期2年の課程）又は専門職学位課程を修了した者と同等以上の学力があると認めた者。
- (4) 外国人留学生については、日本語検定N2相当以上の能力を有する者。

3 出願資格に関する事前審査

「2 出願資格」に定める(2)および(3)に該当する場合は、出願に先立ち、入学資格審査を申請し、合格した者が出願できます。

- (1) 提出書類 ①出願資格認定申請書
②履歴書
③卒業（見込み）証明書
④成績証明書
⑤返信用封筒（定型：出願資格合否送付用、374円分の切手を貼ること）

(2) 提出方法

書類は、提出先に郵送して下さい。ただし封筒の表に「博士後期課程出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、必ず速達・書留郵便で送付して下さい。

(3) 提出期間

資格審査	第1期 令和3年 8月30日（月）～令和3年 9月 6日（月）
受付期間	第2期 令和3年12月 6日（月）～令和3年12月13日（月）

(4) 提出先：〒245-0066神奈川県横浜市戸塚区俣野町601
 横浜薬科大学 入試広報課 0120-76-8089
 直通；045-854-2345 FAX：045-851-1413

(5) 審査方法
 提出書類による書類審査を行います。

(6) 審査結果の通知
 審査結果は、郵送で申請者にお知らせします。

資格結果	第1期 令和3年 9月17日 (金) まで
の通知	第2期 令和4年12月25日 (金) まで

4 出願手続

(1) 出願を希望する者は、出願前に必ず志望する分野の研究指導教員と面談し、相談をして下さい。

連絡先については、13項の「領域・分野別研究指導教員（教授・准教授）及び課題研究」を参照の上、次の手順で研究指導教員に連絡をし、面談を行って下さい。

・横浜薬科大学入試広報課（TEL: 0120-76-8089 直通045-854-2345）に電話のうえ、研究指導教員に取次ぎを依頼して下さい。

(2) 願書受付期間

願書受付期間	第1期	推薦入試	令和2年 7月17日 (金) ～ 令和2年 7月31日 (金)	消印有効
		一般・社会人入試	令和2年 9月18日 (金) ～ 令和2年 9月25日 (金)	
	第2期	各試験共通	令和3年 1月15日 (金) ～ 令和3年 1月29日 (金)	
書類送付先住所等	〒245-0066神奈川県横浜市戸塚区俣野町601 横浜薬科大学 入試広報課 0120-76-8089 直通：045-854-2345 FAX：045-851-1413			

(3) 出願方法

出願書類は郵送に限ります。郵送にあたっては、出願書類を速達・書留郵便で郵送して下さい。国外からの出願者は、日本国内在住の身元保証人を通して書類を提出して下さい。

なお、提出された書類については、記載事項の変更は一切認められません、また、いかなる理由があっても返却できません。

- (注) ・提出書類の不足、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理できないので、出願の際に十分確認して下さい。
- ・出願書類を受理後、受験票を送付します。試験の一週間前までに届かない場合は、提出書類の投函日・郵便局名、書留番号を明らかにして横浜薬科大学入試広報課に必ずお問い合わせ下さい。

5 入学検定料

(1) 検定料：30,000円

(2) 振込場所および方法：銀行振込に限ります。

・本要項付属の検定料振込依頼書（銀行振込用）に、必要事項を記入の上、最寄りの金融機関（※注）から振り込むこと。（ATM、インターネット等は利用しないこと。）

・振込の際、振込金受取書（B票）及び振込金受付証明書（C票）を受け取り、振込金受付証明書（C票）を入学願書の裏面の所定欄に貼り付けて下さい。振込金受取書（B票）は領収書なので、大切に保管して下さい。

・なお、振込先銀行の本・支店以外から検定料を払い込む場合は、振込手数料が出願者本人の負担となるので、留意して下さい。

(注) 一旦振り込まれた検定料は返金できませんのでご注意ください。

6 出願書類

出願書類の区分	摘 要
① 入学願書	本学指定の用紙に所要事項を記入したもの。
② 成績書	出身大学の長（学長、学部長等）が作成の上、厳封したもの。ただし、本学薬学部を卒業した者および卒業見込みの者は、提出する必要はない。
③ 卒業（見込み）又は 修了（見込み）証明書	出身学校の長（学長、学部長など）が作成の上、厳封したもの。ただし、本学薬学部を卒業した者および卒業見込みの者は、提出する必要はない。
④ 受験承諾書 (社会人入試受験生のみ)	本学指定の用紙。 官公庁その他民間会社等に在職中の者は、所属長の受験承諾書を提出すること。
⑤ 志願理由書	本学指定の用紙、志望教室への志望理由、大学院で進めたい研究内容 について 700字以上にまとめ、手書きとする（横書、鉛筆不可）。
⑥ 推薦書 (推薦入試、社会人入試受験生のみ)	本学指定の用紙、推薦入試および社会人入試の場合に提出すること。大学等に在 学中の指導教員等が作成したもの。なお、官公庁その他民間会社等に在職中の者 は、指導教員等の推薦書に代えて、所属長の推薦書を提出することができる。
⑦ 修士学位論文の要旨	大学院修士課程（博士前期課程）修了（見込）者は提出すること（A4用紙2ペー ジ以内）。なお、官公庁その他民間会社等に在職中の者は、修士学位論文の要旨に 代えて、研究経過報告書又は業務研究経過説明書（A4用紙4ページ以内）を提出 することができる。
⑧ TOEFL・TOEICの成績を証明する もの（第2期入学試験受験者のみ）	TOEFL Internet-Based Testing (TOEFL iBT) Test 又は TOEIC Listening & Reading (TOEIC L&R) Test の成績を証明するものの原本（提出日から遡り3年以内に受験 した試験の成績に限る。コピーは不可。）を提出すること。TOEIC-IP等団体特別受 験制度による試験成績は不可とする。提出時に成績証明の原本が間に合わない場合 には、本学入試課にその旨連絡することで、試験日当日に持参し提出することが出 来る。
⑨ 写真	2枚（3ヶ月以内撮影の正面上半身脱帽・無背景のものを入学願書および受験票 の所定の欄に貼ること。） ※ 縦4cm×横3cm、裏面に氏名記入
⑩ 返送用封筒	受験票等送付用、353円分の切手を貼ること。
以下⑪および⑫は外国人のみ必要	
⑪ 外国人登録原票記載事項証明書	現に日本に在留している外国人で入学を志願する者（在留期間が90日を超える 者）は、市区長村長が発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出するこ と。
⑫ パスポートの写し	国外からの出願者は、パスポートの写しを提出すること。

7 選考方法および筆記試験科目

(1) 選考方法

ア 一般入学試験

出願書類による書類審査、筆記試験（英語、専門科目）および面接試験を実施します。

イ 推薦入学試験

- ・本学の薬科学専攻博士前期（修士）課程又は本学と同じ建学の精神を有する関連大学の修士課程又は博士前期課程を令和4年3月に修了見込みの者。
- ・出願書類による書類審査、筆記試験（英語、小論文）および面接試験を実施します。

(注) 推薦入試対象大学については本学入試課にお問い合わせ下さい。

ウ 社会人入学試験

- ・4年制理系大学大学院修士課程又は博士前期課程を修了または6年制の医歯薬系大学を卒業後、3年以上の薬学関連の業務経験を有すると認める者（※注）で、入学後も社会人として勤務することを希望する者、かつ出願時において在職する（在職見込みを含む）官公庁その他民間会社等の所属長の受験承諾が得られる者。

(注) 本学が認める薬学関係の業務については本学入試課にお問い合わせ下さい。

- ・出願書類による書類審査、筆記試験（英語、小論文）および面接試験を実施します。

(2) 筆記試験科目

英語	専門科目	小論文
英語（教養英語、自然科学および薬学英語より出題します）	①創薬化学（有機化学、医薬品合成化学、天然物化学を含む）、②ライフサイエンス（薬理学、機能形態学、生化学、分子生物学を含む）、③ヘルスサイエンス（衛生化学、環境衛生学、食化学を含む）、④臨床薬学（臨床薬理学、薬物治療学、薬物動態学、医薬品評価学を含む）、⑤漢方薬学（漢方薬学、生薬学、薬用植物学を含む） （上記①～⑤の5つの領域の中から1領域を出願時に選択する。）	小論文（試験時に課題を示します。）

- ※注 ・試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合があります。
 ・TOEFLまたはTOEICのスコア等の英語能力を証明する書類をもって英語の筆記試験に替える（免除）することができます。（出願書類として提出してください。）

8 試験期日および場所

	第1期		第2期
入試区分	推薦入学試験	一般入学試験 社会人入学試験	一般入学試験 推薦入学試験 社会人入学試験
試験期日	令和2年8月16日(日)	令和2年10月11日(日)	令和3年2月14日(日)
試験場	横浜薬科大学		

※ 試験の時間割および詳細な場所は、出願書類受理後に本人に直接通知します。

9 合格者の発表

(1) 合格発表日

	第1期		第2期
入試区分	推薦入学試験	一般入学試験 社会人入学試験	一般入学試験 推薦入学試験 社会人入学試験
合格発表	令和2年8月27日(木)	令和2年10月20日(火)	令和3年2月25日(木)

(2) 合否通知は、合格発表日に本人へ郵送にて送付・通知します。

(3) 電話・電子メールなどによる問い合わせには、一切応じません。

10 入学手続

(1) 入学手続は、合否通知に同封される入学手続要領により、所定の期間内に所定の手続き（学納金納付、書類提出等）を行って下さい。なお、所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱うこととなります。

	第1期	第2期
入学手続き締切日	令和2年12月11日(金)	令和3年3月5日(金)

(注) 書類の提出が遅れる場合には、前もって連絡して下さい。

(2) 書類等の提出

- ・誓約書（正副2通提出、1通は検印後に返送します。）
- ・住民票（本人の住所が記載されているもの）
- ・外国人登録証明書（外国人の方は、入学手続時まで「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。）
- ・学納金の振込（授業料などの学納金（一学年初回分）を、指定の「振込用紙」を使用して振り込んで下さい。

(3) 上記手続き終了後、入学許可証及び学納金の領収書を送付します。

(注) 入学を許可した後であっても、履歴等の記載と相違する事実が発見された場合には入学許可を取り消すことがあります。

1.1 学納金

(1) 薬科学専攻博士後期課程の学納金は次のとおりです。

初年度 学納金

単位：万円

	入学時	10月	合計
入学金※	30	-	30
授業料	40	40	80
合計	70	40	110

※ 本学からの進学者は入学金を免除

2～4年次 学納金

単位：万円

	4月	10月	合計
授業料	40	40	80
施設充実費	15	15	30
合計	55	55	110

(注) 納入方法は一括納入又は二期分割納入が選べます。

(2) 入学時又は入学後において、学債や寄付金などの要請は一切ありません。

(3) 上記以外に、委託徴収金として後援会費、年額12,000円が必要です。

(4) 学納金の振込は、本学から郵送する所定の振込用紙を使用して下さい。

1.2 受験に関する質問先

横浜薬科大学 入試広報課 (TEL) 0120-76-8089 直通 045-854-2345

令和4年度薬科学専攻博士後期課程指導教員（教授・准教授）課題研究一覧

研究領域	教員名	職位	研究室名	内線	課題研究
創薬化学	庄司 満	教授	天然有機化学	7070	生理活性化合物の合成および機能に関する研究
	波多江典之	教授	薬品反応学	7098	スイッチング反応の制御機構の解明に基づく分子設計
	塚本 裕一	教授	創薬化学	8009	創薬研究への応用を指向した新規触媒反応の開発
	酒井 佑宜	准教授※	創薬化学	7011	生物活性物質の探索と作用機序の解明
	鰐淵 清史	准教授※	天然有機化学	7058	生物活性物質と受容体の特異的相互作用の解明
ライフサイエンス	岡 美佳子	教授	臨床薬理学	8082	分子生物学・組織学的手法を用いた疾病の発症機序の解明、予防薬の探索
	小笹 徹	教授	生化学研究室	8093	がん進展におけるGPCRシグナル伝達系の機能解析
	田邊 由幸	教授	薬理学	8069	病態欠陥と肥大化脂肪組織での細胞機能と薬物制御に関する研究
	川嶋 剛	教授	分子生物学	8063	分子生物学的技術を用いた遺伝子発現制御機構の解明
	川島 芳枝	教授	生体防御学	8012	脊椎動物の形態形成関連遺伝子およびその発現パターンの変異とヒト疾患との関連に関する研究
	高橋 哲史	准教授	漢方治療学	8068	遺伝子多型と病態発症の関係の解析および消化器疾患を標的とした創薬研究
	松岡 秀忠	准教授	分子生物学	7096	精神疾患関連分子の生理機能およびその破綻による病態の解明
ヘルスサイエンス	埴岡 伸光	教授	公衆衛生学	7020	薬物代謝酵素の多様性に着眼した化学物質の毒性発現機序の解明
	香川 聡子	教授	環境科学	8074	環境化学物質の気道刺激に関与する生体要因とその作用機構の解明
	越智 定幸	教授	感染予防学	7072	分子疫学からの原因微生物の同定と比較ゲノム解析
	曾根 秀子	教授	食化学	7083	毒性学、幹細胞を活用した病態解析と予防・個別化医療への応用
	河村伊久雄	教授	環境科学	7095	細胞内寄生菌に対する感染防御誘導機序の解析—細菌病原因子の関与について—
	三浦 伸彦	教授	環境科学	7089	薬毒物の感受性時刻差および概日リズムを考慮した健康影響解析
	大河原 晋	教授※	公衆衛生学	7029	複合糖質および関連分子の構造および生体機能解析
	速水 耕介	教授※	食化学	7037	システマティックレビューによる医薬品の有効性、安全性評価
	磯部 隆史	准教授	公衆衛生	8013	環境汚染化学物質の吸着除去に関する研究
	高橋 栄造	准教授	感染予防学	7099	下痢原因細菌の性状解析、および生息環境に関する研究
臨床薬学	千葉 康司	教授	臨床薬理学	7059	モデリング・シミュレーション技術を用いた薬物動態・薬効の予測に関する研究
	弓田 長彦	教授	薬物動態学	8015	物理エネルギーを利用したドラッグデリバリーシステムに関する薬物動態学的研究

研究領域	教員名	職位※	研究室名	内線	課題研究
臨床薬学	栗原 隆	教授	バイオ医薬品評価	8096	バイオ医薬品の開発の迅速化を目的とした薬物動態学的/薬物動力学的研究
	山田 博章	教授	レギュラトリーサイエンス	7071	医薬品等の開発、承認審査、安全対策を対象にした、レギュラトリーサイエンス的手法の効果、問題点に関する研究
	岡田 賢二	准教授	臨床薬理学	7001	医薬品の有効性及び安全性を解析し、既存の薬物療法の評価に関する研究
	岩瀬由未子	准教授	薬物動態学	7044	音響化学的作用を利用した難吸収性薬物の消化管吸収増大に関する研究
	吉門 崇	准教授※	臨床薬理学	8083	薬物トランスポーター・代謝酵素が関わる薬物相互作用および薬物動態の個人差をターゲットとした数理モデル解析
漢方薬学	榊原 巖	教授	漢方天然物化学	8075	漢方処方等の有効性と作用機序の科学的解明
	梅原 薫	教授	漢方天然物化学	8085	生理活性を指標とした伝承薬中の有用成分の解明
	李 宜融	教授	生薬・薬用資源学	7003	伝統医薬からの科学的解明研究。天然資源からの新たな医薬素材の探索研究。
	喻 静	准教授	漢方薬物学	7007	漢方薬の抗動脈硬化・アンチエイジング作用機序の解明

※ 文部科学省の教員審査申請中